

TAPリーダー

■青の網掛けは資格取得が可能な学科

国語教育	生産農	情報通信工	国経	教育	PA	LA	観光
英語教育	環境農	ソフトウェア		乳幼児	MD		
	先端食農	マネジメント			AE		
		エンジニアリング					

- TAPとは、Tamagawa Adventure Programの略称で、本学の建学の精神である全人教育を達成していく上で求められる、個と集団の資質・能力を高めていくための教育手法です。TAPセンターでは、「行動する全人教育」の理念を掲げ、アドベンチャー教育が軸になっている体験学習を応用したTAPの手法により、児童・生徒・学生の持つ能力を引き出す支援を行っています。
- このTAPの手法を理論と実践を通して学ぶことにより、コミュニケーション能力に優れ、社会的ニーズに対応したリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指し、「TAPリーダー」を養成するためのプログラムを展開しています。「TAPリーダー」は本学独自の資格であり、以下の資格取得条件を満たした学生に付与されます。

資格取得条件

- 1) ユニバーシティ・スタンダード科目「TAPファシリテーションⅠ（2単位）」、「TAPファシリテーションⅡ（2単位）」を修得していること。
- 2) TAPリーダー資格試験に合格すること。

資格取得までの流れ

1. ガイダンス	春学期に、資格取得のためのガイダンスを開催します。資格取得希望者は必ず出席してください。日程は、UNITAMA掲示にてお知らせします。
2. 資格申込	「TAPリーダー資格希望申込書」をTAPセンターに提出（詳細はガイダンス時に説明します）。
3. 科目履修	「TAPファシリテーションⅠ」（2単位）定員：25名* 「TAPファシリテーションⅡ」（2単位）定員：60名*
4. 資格申請	「TAPリーダー資格申請書」をTAPセンターに提出（詳細はガイダンス時に説明します）。
5. 資格試験	面談及び知識・スキルチェックを実施します。
6. 資格取得	資格試験合格者に資格認定証が授与されます。

※定員を超えた場合は、上級学年の申込者を優先し、さらに同一学年で定員を超えた場合は抽選とする。

TAPリーダー養成プログラムの理念

「TAPファシリテーションⅠ」においては、基本的なアクティビティをシークエンスに則りながら体験し、振り返りを通じて体験による気づきや学びを認識し、実生活などに応用・転用する体験学習サイクルの重要性を体験的に学ぶ。

またチームビルディングの過程を通じて、コミュニケーションや意思決定、目標設定と振り返り、自己主張と協調性、リーダーシップとフォロワーシップ等を学び、個と集団の質的な成長を体験的に学ぶ。

「TAPファシリテーションⅡ」においては、TAPで用いられる概念や用語を整理し、「TAPファシリテーションⅠ」での実践的学びと基礎的な理論を往還し、総合できるようになる。

また、リーダーやファシリテーターに必要とされる知識（プログラミング・グループダイナミクス等）を修得し、実際にグループのリーダーとして活躍できるようになる。